2Ga－4　身体に対するアンダーウエアの適合性について

多屋淑子　○山田陽子
(日本女大)

目的　現在、消費者の考え方が「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと移行するに従い、衣服の着心地への意識も高まってきている。得に女性が日常着用しているアンダーウエアは、実用性だけではなくファッション性や機能性も重要視されるようになった。アンダーウエアによって体型を整えることは、着用者の体の美しさを強調すると同時に、外衣の美しさを増すことへとつながる。又、日常着用しているアンダーウエアが、本当に着用者の体に適しているのかという問題は、精神的にも衛生学的にも重要なことである。本研究では、女性にとって最も必要性が高いと思われるブラジャーについて、着心地を客観的に評価するために次の事項の方法で実験を行った。

方法　ブラジャーが人体にどれだけ負荷を与えているかを調べることを目的とし、被験者に共通のブラジャーを用い、衣服圧力を測定した。測定部位は、左乳房、左背側部の2ヵ所で、測定動作は直立、挙手、運動後直立であった。アンダーウエアの身体に対する適合性について、三次元計測機を用いて三次元形状計測を行った。さらに、被験者の体型、皮膚の弾力性について検討するために、身体サイズ適合度の異なるブラジャーを使用し、アンダーバストラインの各部分の伸長率特性を計測した。その結果から、被験者の皮膚の弾力性、着用感について検討した。

結果　アンダーバストラインの伸長率特性と、三次元による人体測定から出された乳頭間隔等の関係から、着用したブラジャーによって人体にどれだけの負荷がかかり、着心地に影響を与えるかを検討した。